



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月10日

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所 福  
 コード番号 7441 URL http://kk-misumi.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 恒憲  
 問合せ先責任者 (役職名) サポート本部長兼経理部長 (氏名) 今田 和孝 (TEL) 099-260-2213  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	42,558	△5.0	790	19.9	1,070	15.6	682	17.7
2019年3月期第3四半期	44,797	7.6	659	9.8	926	9.4	579	△4.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 879百万円(178.6%) 2019年3月期第3四半期 315百万円(△67.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	113.13	—
2019年3月期第3四半期	95.99	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	36,433	17,326	46.8
2019年3月期	35,673	16,697	46.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 17,059百万円 2019年3月期 16,440百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,847	1.7	1,091	△5.9	1,399	△9.6	750	△7.7	124.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	6,100,503株	2019年3月期	6,100,503株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	78,869株	2019年3月期	70,669株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	6,028,875株	2019年3月期3Q	6,036,665株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの営業基盤である南九州の経済は、雇用・所得環境の改善が続いているものの、個人消費は総じて力強さに欠ける動きが継続しており、人口減少による消費マーケットの縮小や人手不足を背景とした人件費や物流費が上昇しております。

このような状況の中で当社グループは、主力であるエネルギー関連商品の販売シェアの拡大に向け、法人顧客の新規開拓や既存顧客に対する増販活動に注力するとともに、その他セグメントにおいては、既存店舗の活性化等を目的とした店舗リニューアルを進めました。また、安定した労働力の確保の為に、限定正社員制度を導入しております。

以上の結果、原油価格が前期に比べ低調に推移してきたことにより、エネルギー関連商品の販売価格が低下した影響等から、当第3四半期連結累計期間の売上高は425億58百万円（前年同四半期比5.0%減）となりましたが、外食部門のキャンペーンが好調なことに加え、前期に発生したブックスミスミ日向店の出店費用の影響が今期は無くなったことから、経常利益は10億70百万円（前年同四半期比15.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億82百万円（前年同四半期比17.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、主に小口需要家の開拓に努めました。また、4月から広域法人営業課を新設し、法人向けのビジネスカード等の新規取引先の開拓を図るなど、販路の拡大と数量の増加に取り組みました。

ガス部門では、訪問活動による新規顧客の開拓やガス関連商品の提案、住設機器の展示会等を実施するなど、お客様との関係強化に努めるとともに、昨年からの販売エリアごとに順次設置を進めているLPガスの集中監視システムの導入による業務の効率化とIoTを活用した様々なサービスの実現に向けて取り組んでおります。

以上の結果、原油価格が前期に比べ低調に推移してきたことにより、エネルギー関連商品の販売価格が低下した影響及び販売数量が減少したことから、売上高は328億35百万円（前年同四半期比7.1%減）、セグメント利益（営業利益）は6億50百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

#### 2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、ブックスミスミ人吉店において売場の改装を行い、書籍と文具の販売促進を図りました。また、9月には熊本県で初となるApple専門店「misumi STORE熊本」（熊本市中央区）を大型商業施設内に出店いたしました。

自動車部門では、出張展示会の開催により集客を図り、新車販売の増販に努めるとともに、プジョー車の告知を積極的に進めることに注力し、収益確保に努めました。

ホームライフ部門では、相談会や展示会を開催し、新規受注の獲得を図りました。

以上の結果、売上高は53億28百万円（前年同四半期比3.6%増）、セグメント利益（営業利益）は1億68百万円（前年同四半期比137.0%増）となりました。

#### 3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力業態であるKFCにおいて、大型商業施設に出店しているKFC光の森店（熊本県菊池郡菊陽町）の売場をフードコート内に移転し、6月にリニューアルオープンするとともに、全業態においてコスト管理とオペレーション力の強化に努めました。

以上の結果、売上高は43億94百万円（前年同四半期比1.5%増）、セグメント利益（営業利益）は4億81百万円（前年同四半期比15.5%増）となりました。

（上記金額には、消費税等は含まれておりません。）

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて7億59百万円増加し、364億33百万円となりました。これは主に、投資その他の資産のその他(投資有価証券)が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1億30百万円増加し、191億6百万円となりました。これは主に、借入金が増加する一方、買掛金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて6億29百万円増加し、173億26百万円となりました。これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2019年5月13日発表から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,615,053	5,688,557
受取手形及び売掛金	4,865,534	4,938,421
商品及び製品	2,628,861	2,720,410
仕掛品	24,274	28,912
原材料及び貯蔵品	29,299	21,439
その他	570,984	687,551
貸倒引当金	△20,309	△20,202
流動資産合計	13,713,697	14,065,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,489,845	4,469,248
土地	11,923,043	11,914,683
その他（純額）	1,169,534	1,180,809
有形固定資産合計	17,582,423	17,564,741
無形固定資産	364,826	440,751
投資その他の資産		
その他	4,235,387	4,589,490
貸倒引当金	△222,778	△226,899
投資その他の資産合計	4,012,608	4,362,590
固定資産合計	21,959,858	22,368,083
資産合計	35,673,556	36,433,173
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,908,446	2,148,022
短期借入金	4,505,000	4,625,000
1年内返済予定の長期借入金	2,757,000	2,802,000
未払法人税等	282,521	139,287
賞与引当金	266,950	145,407
その他	1,715,454	1,899,563
流動負債合計	11,435,372	11,759,280
固定負債		
長期借入金	5,752,989	5,373,989
役員退職慰労引当金	657,600	690,400
その他	1,130,245	1,282,872
固定負債合計	7,540,834	7,347,261
負債合計	18,976,206	19,106,542

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,600	1,646,600
利益剰余金	12,795,973	13,248,912
自己株式	△117,518	△132,481
株主資本合計	16,015,954	16,453,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	450,908	618,933
退職給付に係る調整累計額	△26,556	△13,332
その他の包括利益累計額合計	424,352	605,600
非支配株主持分	257,042	267,099
純資産合計	16,697,349	17,326,631
負債純資産合計	35,673,556	36,433,173

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	44,797,958	42,558,054
売上原価	36,043,527	33,535,786
売上総利益	8,754,430	9,022,268
販売費及び一般管理費	8,094,864	8,231,652
営業利益	659,565	790,615
営業外収益		
受取利息	2,092	2,134
受取配当金	53,447	57,888
受取賃貸料	95,530	100,676
その他	206,986	227,092
営業外収益合計	358,057	387,791
営業外費用		
支払利息	44,181	43,507
賃貸費用	9,417	26,403
固定資産除却損	15,595	16,445
その他	22,089	21,068
営業外費用合計	91,285	107,424
経常利益	926,338	1,070,983
特別利益		
固定資産売却益	1,971	12,510
収用補償金	482	—
特別利益合計	2,454	12,510
特別損失		
固定資産売却損	38	1,756
特別損失合計	38	1,756
税金等調整前四半期純利益	928,753	1,081,737
法人税、住民税及び事業税	289,792	327,597
法人税等調整額	41,758	56,555
法人税等合計	331,550	384,153
四半期純利益	597,203	697,584
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,761	15,512
親会社株主に帰属する四半期純利益	579,441	682,072

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	597,203	697,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△297,661	168,024
退職給付に係る調整額	16,120	13,764
その他の包括利益合計	△281,540	181,788
四半期包括利益	315,662	879,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	296,075	863,320
非支配株主に係る四半期包括利益	19,586	16,052

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,328,918	5,141,824	4,327,214	44,797,958	—	44,797,958
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,990	71,929	18,456	109,376	△109,376	—
計	35,347,909	5,213,753	4,345,670	44,907,334	△109,376	44,797,958
セグメント利益	650,771	71,142	416,713	1,138,627	△479,061	659,565

(注) 1 セグメント利益の調整額△479,061千円には、セグメント間取引消去3,708千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△482,769千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,835,244	5,328,576	4,394,233	42,558,054	—	42,558,054
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,982	70,077	2,858	89,918	△89,918	—
計	32,852,227	5,398,654	4,397,091	42,647,973	△89,918	42,558,054
セグメント利益	650,071	168,598	481,411	1,300,081	△509,466	790,615

(注) 1 セグメント利益の調整額△509,466千円には、セグメント間取引消去3,565千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△513,031千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。